



Title	新年のごあいさつ 第197号
Author(s)	今田, 光三; 藤井, 睦子; 中谷, 紀久雄 他
Citation	makoto. 2022, 197, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85495
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人大阪防疫協会
理事長

今 田 光 三

新年あけましておめでとうございます。
日頃から何かとお力添えを賜り、本当にありがとうございます。

当協会は、昭和22年5月15日（1947年）に設立され、以来、多くの公益活動と収益事業を通じて、皆様方より暖かいご支援・ご指導・ご鞭撻をいただきまして、おかげさまで、本年5月（2022年）で三四半世紀（75周年）を迎えることとなりました。

設立当初より、大阪府・市町村の防疫施策に協力して、感染症の予防並びに公衆衛生に関する事業を行い、その業務を通じて文化の発展に寄与してまいりました。

さて、2020年1月16日に、COVID-19患者が日本で報告されてから、2年が過ぎ、新型コロナウイルスの影響は社会のあらゆる部分に及びました。

世界をみれば、強力にロックダウンを行い、感染者の隔離と封じ込めで更なる感染を防ごうと動く国もあれば、ワクチン接種者にはマスクは不要と宣言した国もあれば、感染者を追跡して濃厚接触の可能性を通知する「接触追跡アプリ」を活用する国もあります。

いずれの国も、ひとつの施策に頼るのではなく、大胆な試行錯誤のなかで、次々と施策を展開しています。

新型コロナウイルスは猖獗を極めており、我が国では、ワクチン注射の効果等により感染者数の相対的な減少など、明るい材料は出てきているものの完全解決には、時間がかかると思われ、さらには第6波の可能性や外国の変異株の動向等が懸念されているところでもあります。

また、気候変動対策について話し合う、イギリス・グラスゴーで開催されたCOP26（国連気候変動枠組条約第26回締約国会議）で、世界の平均気温の上昇を1.5度未満に抑えるための削減強化を各国に求める「グラスゴー気候合意」が採択されました。

気候変動は、干ばつや豪雨など自然災害の頻発化や激甚化、食糧供給へのリスク増など、世界中のすべての人々の暮らしをおびやかす喫緊の課題です。

私どもは、10年後、20年後の未来を見据えて、この危機に立ち向かうため、また、新型コロナウイルスとの共存を前提に、withコロナの新しい時代のニーズにお応えするために、人々の健康で快適な暮らしに奉仕する公益法人設立当初の目的の実現に向け、積極的に民間の知恵と財源を集め、また技術者集団として高いレベルを保ち続け、精力的かつこれまで以上に社会に貢献すべく努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

❀ 新年のごあいさつ ❀



大阪府健康医療部長

藤 井 睦 子

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日ごろから本府の健康医療行政に格別の御支援、御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの変異株による影響もあり、世界規模で感染が拡大し、本府においても、これまでにない感染の急拡大を経験しました。その経験も踏まえ本府では、第六波に備え、受入病床の更なる確保に加え、診療型宿泊療養施設の充実のほか、外来や往診による中和抗体療法の充実による初期治療体制の強化により、重症化を予防する体制の整備を進めております。また、感染拡大時の保健所業務のひっ迫により、自宅療養者が医療や療養につながらない状況を改善するため、自宅待機者等の緊急相談に24時間対応する「大阪府自宅待機者等24時間緊急サポートセンター（自宅待機SOS）」を開設するとともに、圏域ごとの医療・療養のネットワーク体制の構築・連携強化にも引き続き取り組んでまいります。

今後、新たな未来を切り拓くシンボルとなる「大阪・関西万博」を控え、大阪が、国際都市として、世界から安全・安心の信頼を得るためには、感染症の発生予防やまん延防止対策等の備えが必要不可欠です。

貴協会がこれまで培ってこられた専門的知見は、感染症の発生予防やまん延防止対策に対応するにあたり非常に心強いものであり、大阪の一層の安全・安心の確保に向け、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様方の御健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



大阪市健康局
生活衛生担当部長

中 谷 紀久雄

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、平素から環境衛生行政をはじめ大阪市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、貴協会におかれましては、防疫に関する相談事業に日頃から取り組まれており、その社会貢献に対して深く敬意を表する次第であります。

さて、令和元年12月以降、世界各地で新型コロナウイルス感染症が拡大し、これまで大阪府においても感染状況等に応じて緊急事態宣言が発出され、緊急事態措置がとられるなど、市民生活のみならず、社会、経済など多方面にわたって、甚大な影響を及ぼす事態となりました。貴協会が永年にわたり培ってこられた防疫活動に係る豊富な知識や経験は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に努めている大阪市におきましても、誠に心強い限りです。

大阪市といたしましても、新型コロナウイルス感染症との共存を前提に、新しい生活様式への対応促進を図り、感染拡大の防止と市民生活・経済活動の維持との両立が今後も持続的に可能となるように取組みを継続してまいりますので、皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

一方で、市民生活への支援及び市内の消費や需要を喚起することで大阪経済の再生を進め、コロナを乗り越えた先にある大阪の成長・発展を確たるものとし、日本の成長をけん引する東西二極の一極として、世界に存在感を発揮する「副首都・大阪」の確立・発展をめざしてまいりますので、皆様方の御理解と御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。

❀ 新年のごあいさつ ❀



堺市健康福祉局
健康部長

河 内 義 慶

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、2022年の新春を健やかに迎えられ、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、平素より本市保健所行政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

一昨年来、新型コロナウイルス感染症により、経済・社会などさまざまな分野に大きな影響が生じました。なかでも一年延期後、開催された昨年の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」においても、感染対策を講じながらの開催となりました。そのような状況の中でも日本選手の輝かしい活躍により、オリンピックで過去最多となる58個のメダルを、パラリンピックでは過去2番目に多い51個のメダルを獲得したことは、国民に大きな希望と感動を与えたことと思います。来月開催予定の北京オリンピックにも期待するところです。

さて、本市では新型コロナウイルス感染防止対策としまして、過去最大の感染拡大となった第5波を検証し、第6波に備えた対策も確認しております。また、市民の皆様には、様々な日常生活の制限が次第に緩和される中でも、感染の収束に向け、また再拡大が起きた際にも市民生活への影響をできるだけ抑えるために、引き続き感染対策への強い意識と行動へのご協力をお願いしております。

今後とも、市民の健康、安心と安全の確保を図るため、感染症の発生や蔓延の防止などの取組を進めてまいります。

貴協会におかれましては、これまで培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識、経験、高度な技術を発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進により一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍とご健勝、そして、本年が皆様にとりまして幸多い一年となりますことを心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



東大阪市健康部長

島 岡 正 之

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。旧年中は、本市の保健衛生行政推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年より世界各国で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、昨年は変異型コロナウイルスの出現により日本各地でも感染が急速に広がり、複数の波が押し寄せるなど、経済活動や生活様式に多大な変化をもたらしました。一方でワクチン接種が進み、また陽性者の治療において中和抗体薬の投与が認められるなど、未知のウイルス出現に怯えていた当初に比べると、ウイルスとの共存・共生、「With コロナ」の生活へ前進しているところではあります。本市のワクチン接種につきましては、多くの市民の皆さまにワクチンを接種していただけるよう体制強化に努めており、高齢者をはじめ、妊婦や受験生に優先的な接種枠を設定し、ワクチン接種を希望される方にスムーズに接種をしていただく取り組みを行いました。

地域における健康危機管理の拠点である保健所は、感染症対策の拠点としてその重要性が再認識され、今後益々機能強化が求められることから、本市としても更なる公衆衛生行政の機能強化を図り、引き続き各関係機関と連携し、市民の生命と健康を守り安心して暮らせるよう取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた豊富な知識や技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進に引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



高槻市健康福祉部長

根 尾 俊 昭

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、度重なる緊急事態宣言の発令や、ワクチン接種の推進等の措置が実施されてきましたが、感染を根本的に抑えることができない状況が続いています。

このような中、本市では重症化リスクが高い高齢者の命を守る「新型コロナ防衛アクション」を策定し、医療崩壊を防ぎながら社会活動を維持する取り組みを進めてまいりました。今後、ワクチン接種をさらに進める中で、保健所としては、これまでの感染拡大期の経験や様々な知見等を踏まえ、国や府、関係機関と連携し、効果的な感染防止策を講じてまいります。

一方、本市では、三島医療圏唯一の三次救急医療機関である大阪府三島救命救急センターが、今年、大阪医科薬科大学病院へ移転することを予定しております。現在の施設の老朽化や耐震性、狭隘性などの課題が解消されるとともに、病院に併設することで人材の確保等により、持続可能な救急医療体制が確保され、災害医療体制としても一体的な運用が期待されます。本市としても円滑な移転に向け、必要な支援に取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫活動に関する豊富な知識や高度な技術が、より一層必要とされてゆくものと存じます。今後とも住民の安全・安心の確保にご尽力いただくとともに、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



豊中市健康医療部長

松岡 太郎

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

2021年は「パンデミックの怖さとその収束のために重要なこと」を教えていただいた一年であったと思います。4月には病床ひっ迫のため、呼吸困難を訴える自宅療養者の入院病床が見つからず、救急車が長時間立ち往生する事態となりました。11月までには、新型コロナに対するワクチンの普及と住民の根気強い感染予防対策などの成果として、感染の一定の落ち着きをみるに至りました。この間の住民の皆さまと関係団体の皆さまのご理解とご協力に感謝を申し上げます。

2022年は、アフターコロナを見据えた事業をさらに加速させることが必要です。新型コロナの後遺症に悩む住民、巣ごもりなどのためフレイルや認知症が進行している住民、受診控えのため生活習慣病が増悪し、がんが進行している住民、その他、心身の不調に悩まされている住民が多数いらっしゃることを念頭におく必要があります。また、コロナ禍でデジタル技術の活用が進んでおり、住民への啓発方法や窓口業務の在り方を大きく変革させる必要があります。住民の健康と安心・安全を守るため、職員一丸となって職務に励みたいと思います。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかに発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



枚方市健康福祉部長

竹島 弘光

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、世界中がCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）の流行による未曾有の災禍に見舞われています。新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々には謹んで哀悼の意を申し上げますとともに、療養された皆様の社会復帰を祈念いたします。また、引き続き感染状況の中、医療や福祉の現場をはじめとする、命と暮らしを支える仕事に向き合われている皆様に心より感謝申し上げます。

本市においても、一昨年より枚方市新型コロナウイルス対策本部を設置し対応にあたってきました。保健所では、昨年の爆発的な感染者の増加を踏まえ、医療機関をはじめとする関係団体と連携した体制の整備、市内のBCPや応援体制の構築、さらには本市内大学の協力を得るなど、新型コロナウイルス感染症に対し一層の体制強化を図ったところです。また、コロナウイルスワクチン接種については、2回目まで希望する市民の皆様の高い接種率を達成しておりますが、3回目の追加接種を進めつつ、ワクチンを接種した後の日常生活の様々な場面でのマスクの着用や消毒、ソーシャルディスタンスといった基本的な感染症対策を市民の皆様にも引き続きご協力をお願いしているところです。

貴協会におかれましては、様々な危機事象に際してもこれまで培ってこられた豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



八尾市健康福祉部長

當 座 宏 章

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行が継続し、緊急事態宣言発出下で東京オリンピック、パラリンピックが原則無観客開催されるなど、異例の年となりました。本市におきましても、8月に感染者数のピークを迎え、保健所に応援職員を増やし、積極的疫学調査や入院調整等の対応にあたったところです。また、高齢者施設等の従事者を対象に集中的検査を実施し、陽性患者を早期発見することでクラスター発生防止を図りました。ワクチン接種におきましても、希望する方の利便性を考慮して、個別、集団接種会場を設置し、シャトルバス運行等の移動支援にも取り組んでまいりました。

また、昨年は、市民が行政とともにまちづくりを進めるための指針となる八尾市第6次総合計画「八尾新時代しあわせ成長プラン」を策定いたしました。将来都市像として、『つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾』を掲げ、今後、この将来都市像の実現に向けて、八尾にかかわる「市民」が「しあわせ」を感じながら、すべての市民に光があたり、誰一人取り残さないよう、市民と行政の協働のもと、様々な取り組みを総合的かつ着実に実施し、まちの「成長」につなげてまいります。

貴協会におかれましては、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



寝屋川市健康部長

田 邊 雅 章

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は本市の保健衛生行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は世界的に新型コロナウイルス感染症が大流行し、大阪でも陽性者数の増加に伴い緊急事態宣言やまん延防止重点措置が発出され、日常生活や経済活動などにも多大な影響を及ぼしました。

本市では、学校や介護従事者に対して定期的な無償PCR検査を実施したり、高齢者施設で感染者が発生した時に、即座に看護師などを派遣しゾーニングなどの初期対応を指導することによって感染拡大防止に努めるなど、積極的なクラスター発生防止策を講じてまいりました。

また、市独自の新型コロナウイルス感染症対応緊急事業として、市民や市内事業者を支援するために、市内店舗でのお買い物レシートでの応募で寝屋川市民50,000人に総額約5億円相当のギフトが抽選で当たる「寝屋川ギフト事業」など様々な事業を展開しております。

引き続き、保健所が中心となって、市民の皆様様の生命や健康及び生活を守るための感染防止対策や事業に取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識や技術を遺憾なく発揮されますとともに、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸、また、安心して暮らせる日常を取り戻せるよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



吹田市健康医療部長

梅 森 徳 晃

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれましては、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

旧年中は本市の健康医療行政に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年も国内外で新型コロナウイルス感染症が大きく猛威を振るった年でした。本市におきましては、必要な対象者に迅速にPCR検査が実施できるよう保健所にモバイルクリニックを設置し、気候等に影響されない検体採取環境を整備いたしました。また、ワクチン接種では、集団接種を進めるとともに、吹田市医師会の協力のもと個別接種を、市内大学との連携による職域接種を実施することで、接種の加速化を図りました。さらに、病床ひっ迫時、入院待機となった患者を一時的に受け入れ、酸素投与等を行うことのできる入院待機ステーションを設置し、自宅療養者等への対応の充実に努めました。加えて、感染者数の急増に伴う保健所業務のひっ迫に備え、製薬会社と職員の応援派遣に関する協定を締結し、第5波の際には職員を派遣していただきました。

今後、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、「withコロナ」を見据えた業務体制の構築が求められます。新型コロナウイルス感染症に限らず、新興感染症に備えながらも保健所が本来果たすべき業務を的確に実施し、医療機関や吹田市三師会とも連携して、市民の皆様が安心安全に暮らしていけるよう努めてまいります。

貴協会におかれましても、永年にわたり培ってこられた豊富な知識や技術は、より一層必要とされていくものと存じます。今後とも本市の健康医療行政の推進に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人
阪大微生物病研究会
理事長

山 西 弘 一

皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当財団のワクチン事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて昨年は、延期されていた「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催され、異例の無観客での大会となりましたが、日本人選手の懸命な活躍は、終息がみえない新型コロナウイルス（COVID-19）の流行の中で多くの人々に勇気と希望、感動を強く与えてくれました。

当財団といたしましても、このコロナ禍に求められるワクチン開発への期待に応えるべく、尽力していく所存でございます。現在、産官学連携で新興感染症対応のプラットフォームを構築し、基礎研究の段階で複数のCOVID-19ワクチンの開発を並行して進めています。その中でも当財団が開発ノウハウを持つ水痘や麻疹などの生ワクチンの技術を生かしたワクチン開発に期待が寄せられています。我々の強みである、基礎から臨床、ひいては商用生産に至る一貫した技術力を生かし、これからもワクチン開発に邁進してまいります。

また、昨年の秋には、大阪府を含む関西圏にて、带状疱疹の疾患啓発CMをTV放映させていただきました。現在COVID-19による社会環境の変化などによって、過度なストレスが原因と考えられる带状疱疹などが散見されていますが、今回「テレビCMによる疾患啓発活動」を通じ、特に带状疱疹の好発年齢である50歳以上の方への注意を喚起するとともに治療や予防接種の存在についても広くお伝えするなど、ワクチン・予防接種を通じた带状疱疹で苦しむ方を1人でも減らしたいとの思いから、CM放映を実施したところでございます。

これからも、当財団はワクチンの製造・供給を通じて国内外の感染症対策に寄与するだけでなく、新たなワクチン開発や疾患啓発活動を行い、公衆衛生に貢献していきます。

貴協会からも旧年に変わらぬご理解、ご支援を賜れますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。